

2018年度第1四半期決算及び上期見通し(日本基準)について

<損益見通し(連結・日本基準)>

(単位:億円)

	2018		2017		2017	2017年度	2017.1/四 → 2018.1/四	2017上期 → 2018上見	2017下期 → 2018上見
	1/四	上見	1/四	上期					
売上高	14,408	30,000	13,554	27,450	29,235	56,686	+ 854	+ 2,550	+ 765
経常利益 [ROS]	877	1,500	1,079	1,576	1,399	2,975	※1 - 202 [-1.9%]	※1 - 76 [-0.7%]	※1 + 101 [+0.2%]
特別損益	102		-	▲ 29	▲ 47	▲ 76	※2 + 102		
親会社株主に帰属 する当期純利益 <1株当たり当期純利益> [ROE]*	963	1,300	713	991	959	1,950	+ 250 <+ 28.3> [+2.6%]	+ 309 <+ 34.7>	+ 341 <+ 38.3>
有利子負債	22,793		21,796	21,745	20,689	20,689	+ 997		
D/Eレシオ	0.72		0.73	0.71	0.66	0.66	- 0.01		

* 年率換算

※1 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)

2017.1/四
→2018.1/四

2017上期
→2018上見

2017下期
→2018上見

連結経常利益 差異	-200	-80	+100
1. 製鉄事業	-170	+10	+130
① 生産出荷	+20	+240	+240
② 販売価格・構成	+450	+920	+560
③ 原料価格(キリ-オーパ-含む)	-50	-420	-460
④ コスト改善	+150	+410	+30
⑤ 在庫評価差	-410	-540	+30
⑥ グループ会社	-110	-360	-230
⑦ 為替影響(スワップ)	+30	+60	+120
⑧ その他	-250	-300	-160
2. 鉄以外セグメント	+40	~	-30
3. 調整額	-70	-90	~

※2 特別損益内訳

(単位:億円)

	2018 1/四	2017 1/四	2017.1/四 →2018.1/四
特別損益 合計	102	-	+ 102
投資有価証券売却益	102	-	+ 102

<諸元>

(1) 当社

	2018 1/四	2018 上見	2017 1/四	2017 上期	2017 下期	2017 年度	2017.1/四 → 2018.1/四	2017上期 → 2018上見	2017下期 → 2018上見
連結粗鋼生産量(万t)	1,184	2,440程度	1,144	2,312	2,370	4,682	+ 40	+ 128程度	+ 70程度
単独粗鋼生産量(万t)*1	1,029	2,130程度	990	2,009	2,058	4,067	+ 39	+ 121程度	+ 72程度
鋼材出荷量(万t)*1	957	1,980程度	934	1,872	1,907	3,779	+ 23	+ 108程度	+ 73程度
鋼材価格(千円/t)*1	87.2	88程度	84.0	83.5	85.8	84.7	+ 3.2	+ 4程度	+ 2程度
為替(円/\$)	108	110程度	111	111	111	111	3円高	1程度円高	1程度円高

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2018 1/四	2018 上見	2017 1/四	2017 上期	2017 下期	2017 年度	2017.1/四 → 2018.1/四	2017上期 → 2018上見	2017下期 → 2018上見
粗鋼生産量(万t)*2	2,657	5,311程度	2,609	5,204	5,280	10,484	+ 48	+ 107程度	+ 31程度
鋼材消費(万t)*3	1,537	3,114	1,534	3,103	3,168	6,271	+ 3	+ 11	- 54
(うち製造業)	(992)	(2,001)	(979)	(1,980)	(2,024)	(4,005)	(+ 13)	(+ 20)	(- 24)
<製造業比率>	< 64.6%>	< 64.2%>	< 63.9%>	< 63.8%>	< 63.9%>	< 63.9%>	<+ 0.7%>	<+ 0.4%>	<+ 0.3%>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,213	2,458	1,216	2,457	2,513	4,970	- 3	+ 1	- 55
建設	523	1,070	533	1,079	1,099	2,178	- 10	- 10	- 29
製造業	690	1,388	683	1,378	1,415	2,792	+ 7	+ 11	- 26
特殊鋼鋼材消費(万t)	324	656	318	646	654	1,301	+ 6	+ 10	+ 2
国内メーカー問屋在庫(万t)*4	581		556	570	583	583	+ 25		
薄板三品在庫(万t)*4	430		401	416	421	421	+ 29		

*2 経済産業省見通し *3 当社推定値 *4 6月末(速報)

(参考)セグメント情報(日本基準)

(単位:億円)

	2018		2017		2017	2017年度	2017.1/四 → 2018.1/四	2017上期 → 2018上見	2017下期 → 2018上見
	1/四	上見	1/四	上期					
売上高	14,408	30,000	13,554	27,450	29,235	56,686	+ 854	+ 2,550	+ 765
製鉄	12,834	26,700	12,088	24,380	25,792	50,172	+ 746	+ 2,320	+ 908
エンジニアリング	702	1,600	608	1,341	1,601	2,942	+ 94	+ 259	- 1
化学	492	1,050	465	983	1,023	2,007	+ 27	+ 67	+ 27
新素材	107	210	90	179	191	370	+ 17	+ 31	+ 19
化学+新素材	599	1,260	555	1,162	1,214	2,377	+ 44	+ 98	+ 46
システムソリューション	584	1,180	581	1,165	1,276	2,442	+ 3	+ 15	- 96
調整額	▲ 312	▲ 740	▲ 280	▲ 598	▲ 649	▲ 1,248	- 32	- 142	- 91
経常利益	877	1,500	1,079	1,576	1,399	2,975	- 202	- 76	+ 101
製鉄	816	1,300	987	1,287	1,169	2,457	- 171	+ 13	+ 131
エンジニアリング	▲ 2	25	▲ 6	19	71	91	+ 4	+ 6	- 46
化学	57	90	25	93	61	154	+ 32	- 3	+ 29
新素材	7	10	4	11	7	19	+ 3	- 1	+ 3
化学+新素材	64	100	29	104	68	173	+ 35	- 4	+ 32
システムソリューション	52	110	50	107	125	232	+ 2	+ 3	- 15
調整額	▲ 53	▲ 35	18	56	▲ 36	20	- 71	- 91	+ 1

(注)上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(次ページにつづく)

2018年度上期及び年度見通し(IFRS)について

<損益見通し(連結・IFRS試算値)>

(単位:億円)

	2018 上見	2018 下見	2018年度見	2018上見 → 2018下見
売上収益	30,000	33,000	63,000	+ 3,000
事業利益 ※1 [ROS]	1,600 [5.3%]	1,900 [5.8%]	3,500 [5.6%]	※2 + 300 [+0.4%]
親会社の所有者に帰属 する当期純利益 <1株当たり当期純利益>	1,100 < 125.0>	1,300 < 144.0>	2,400 < 269.0>	+ 200 <+ 19.0>

※2 連結事業利益差異の内訳

(単位:億円)

2018上見
→2018下見

連結事業利益 差異	+300
1. 製鉄事業	+200
① 生産出荷	+100
② コスト改善	+70
③ グループ会社	+270
④ その他(減価償却費等)	-240
2. 鉄以外セグメント	+40
3. 調整額	+60

(注)2018年度上期及び年度見通しについては、当社が2019年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することを決定したため、IFRSに基づく試算値を記載しております。

(※1)事業利益とは、税金等調整前当期純利益から負担金利と個別開示項目(*)を除いたものであり、当社における連結経営業績の代表的指標として開示を行っております。

(*)当社グループの営業活動と関連が低く金額の影響が大きい非定常的項目

<セグメント情報>

(単位:億円)

売上収益	30,000	33,000	63,000	+ 3,000
製鉄	26,700	29,300	56,000	+ 2,600
エンジニアリング	1,600	1,900	3,500	+ 300
化学	1,050	1,100	2,150	+ 50
新素材	210	200	410	- 10
化学+新素材	1,260	1,300	2,560	+ 40
システムソリューション	1,180	1,290	2,470	+ 110
調整額	▲ 740	▲ 790	▲ 1,530	- 50

事業利益	1,600	1,900	3,500	+ 300
製鉄	1,400	1,600	3,000	+ 200
エンジニアリング	25	60	85	+ 35
化学	90	80	170	- 10
新素材	10	10	20	-
化学+新素材	100	90	190	- 10
システムソリューション	110	130	240	+ 20
調整額	▲ 35	20	▲ 15	+ 55

<諸元>

(1) 当社

	2018 上見	2018 下見	2018 年度見
連結粗鋼生産量(万t)	2,440程度	2,510程度	4,950程度
単独粗鋼生産量(万t)	2,130程度	2,200程度	4,330程度
鋼材出荷量(万t)	1,980程度		
鋼材価格(千円/t)	88程度		
為替(円/\$)	110程度		

(2) 全国

粗鋼生産量(万t)*1	5,311程度
鋼材消費(万t)*2	3,114
(うち製造業)	(2,001)
<製造業比率>	<64.2%>
普通鋼鋼材消費(万t)	2,458
建設	1,070
製造業	1,388
特殊鋼鋼材消費(万t)	656

*1 経済産業省見通し *2 当社推定値

(ご参考) 2018年度上期見通し 日本基準-IFRS差異

(単位:億円)

経常利益(日本基準)	1,500
差異	+100
1. 会計処理差異	~
のれん非償却化	+60
退職給付関連等	-60
2. 表示組替	+100
金融収支(事業損益外へ)	+100
事業利益(IFRS)*	1,600

当期利益(日本基準)	1,300
差異	-200
1. 会計処理差異	-200
投資有価証券関連	-200
のれん非償却化	+60
退職給付関連等	-60
当期利益(IFRS)*	1,100

*試算値

【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当については、2017年度決算発表時(2018年4月26日)において未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき40円(連結配当性向(IFRSベース)32%)とさせていただく予定と致します。

(注)上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 大西 史哲

TEL (03)6867-2130

<2019年3月期 第1四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
	2017年度	2,609	2,594	5,204	2,639	2,641	5,280
2018年度	2,657	2,654程度 ^(**)	5,311程度				

^(**)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延+冷延+表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2016. 6 末	556	(146.6)	403	19.7
2016. 7 末	539	(141.8)	391	19.1
2016. 8 末	567	(164.7)	405	18.7
2016. 9 末	561	(149.4)	397	18.0
2016. 10 末	561	(140.4)	396	17.7
2016. 11 末	543	(135.3)	383	17.3
2016. 12 末	548	(146.8)	381	17.7
2017. 1 末	560	(148.6)	389	18.6
2017. 2 末	564	(151.9)	388	20.0
2017. 3 末	537	(124.8)	380	20.1
2017. 4 末	554	(151.7)	388	19.7
2017. 5 末	578	(155.9)	409	19.7
2017. 6 末	556	(139.9)	401	19.3
2017. 7 末	542	(142.0)	395	18.9
2017. 8 末	566	(158.4)	414	17.9
2017. 9 末	570	(145.4)	416	18.2
2017. 10 末	583	(150.1)	411	17.6
2017. 11 末	566	(139.2)	400	17.3
2017. 12 末	567	(149.2)	404	17.5
2018. 1 末	586	(157.5)	415	18.5
2018. 2 末	581	(154.4)	412	19.6
2018. 3 末	583	(140.8)	421	20.0
2018. 4 末	579	(145.8)	415	19.6
2018. 5 末	587	(150.1)	434	20.0
2018. 6 末*	581	(141.8)	430	20.7

*2018.6 末は速報値

[当社]

3. 出銑量 (当社+北海製鉄+日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1))

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	992	1,013	2,005	1,008	1,049	2,057	4,061
2018年度	1,025	1,100程度	2,120程度				

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社+国内連結子会社

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	1,144	1,169	2,312	1,168	1,202	2,370	4,682
2018年度	1,184	1,250程度	2,440程度			2,510程度	4,950程度

【参考:単独ベース】 当社+日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	990	1,019	2,009	1,008	1,050	2,058	4,067
2018年度	1,029	1,100程度	2,130程度			2,200程度	4,330程度

5. 鋼材出荷量 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1))

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	934	939	1,872	939	967	1,907	3,779
2018年度	957	1,020程度	1,980程度				

6. 鋼材平均価格 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1))

単位:千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	84.0	83.0	83.5	86.0	85.7	85.8	84.7
2018年度	87.2	88程度	88程度				

7. 鋼材輸出比率 (金額ベース) (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1))

単位:%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	42	41	42	41	41	41	41
2018年度	41	42程度	41程度				

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	111	111	111	113	110	111	111
2018年度	108	110程度	110程度				

9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2017年度	4,119	3,407
2018年度 ^(※2)	4,400程度	3,700程度

(※1) 日鉄住金鋼鉄和歌山は2018年4月1日をもって当社に吸収合併されている。

(※2) IFRS 移行影響等除き

以 上